

アオマツムシを東宇和郡城川町で採集

佐伯 英人

アオマツムシ *Trujalia hibinonis* は明治以降に渡来した中国原産の侵入種である。1986 年には関東・東海地方を中心とした 28 都府県で確認されていた(桐谷, 2002)。愛媛県では, 1999 年の時点で松山市と北条市に生息していることは知られていた(桑田, 1991; 佐伯, 1997; 森川, 1998; 小川・今川, 1999)が, その他の地域における生息状況は不明であった。1999 年に調査した結果, 松山市と北条市を含む 23 の市町村で本種を確認し, 県内のかなり広い範囲に生息していることが明らかになった(佐伯, 2000)。この時未調査であった東宇和郡城川町において, 2002 年 10 月に本種の雄 1 個体を採集したので報告する。標本の記録は, 採集年月日, 採集地点, 括弧内に環境庁標準メッシュコード(環境庁自然保護局, 1997)の順とした。なお, 学名は市川(2002)に従った。標

本は現在, 筆者が保管している。

個体の写真(図 1)は, 1998 年に松山市菅沢町で採集した標本を撮影したものである。

標本の記録

アオマツムシ *Trujalia hibinonis* (Matsumura, 1917) (Madasumma) (図 1)

2002 年 10 月 5 日, 東宇和郡城川町高野子 (5032-0633)

引用文献

- 市川顕彦. 2002. 2002 年版, 日本産直翅目チェックリスト. ぱったりぎす, (131):42.
- 環境庁自然保護局. 1997. 都道府県別メッシュマップ 38 愛媛県. 自然環境研究センター, 東京. 112+VIII pp.
- 桐谷圭治. 2002. アオマツムシ アメリカシロヒトリの側杖を食った先住侵入者. 日本生態学会編, 外来種ハンドブック. 地人書館, 東京. 149.
- 桑田一男. 1991. むし・ムシ・虫. えひめ雑誌, 4 (9):91.
- 森川國康. 1998. 松山市内に急にふえてきたアオマツムシ. 愛媛の自然, 40(10):9-10.
- 小川次郎・今川義康. 1999. 愛媛大学農学部昆虫学研究室に所蔵される四国産直翅目. 四国虫報, (34):10.
- 佐伯英人. 1997. 松山市野外活動センターの敷地内に生息する秋の昆虫. 理科研究紀要, (33):8.
- 佐伯英人. 2000. 愛媛県におけるアオマツムシの生息状況. 愛媛の自然, 42 (2):7-10.

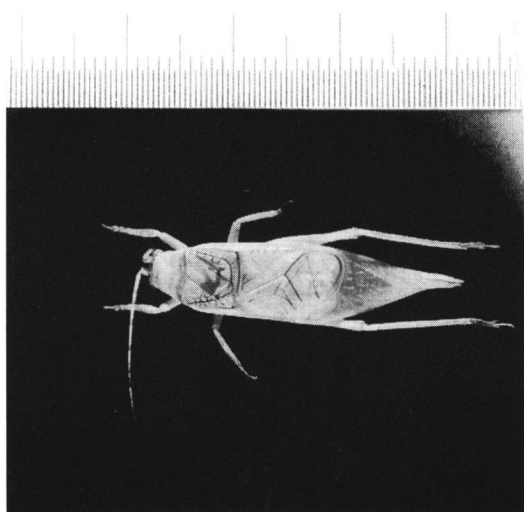


図 1. アオマツムシ *Trujalia hibinonis* (Matsumura, 1917) (佐伯, 2000 と同一個体)

(さいき ひでと 〒791-1123 松山市東方町甲 1245 松山市立荏原小学校)